

IT×青果物卸売×広告 異業種の特徴を活かして 地産地消・地域コミュニティの復活を目指す新しい取組みに向けて 7/29(土)「Axis のやさい」が米子市に初登場

株式会社アクシス（本社:鳥取県鳥取市 代表取締役:坂本哲）と株式会社米子青果（本社:米子市両三柳 代表取締役社長:上田博久）と有限会社あつぷるはうすが3社協業で秋頃にサービス開始を目指す、地産地消・地域コミュニティの復活を目指す新しい取組みを始まります。皮切りに7月29日（土）JR米子駅のリニューアルと同日開催の「地ビールフェスタ in 米子」にフードロスの削減（規格外野菜の販売）と子ども食堂の支援を目的とする「Axis のやさい」を出店します。



<鳥取市で開催の Axis のやさいの様子>

■Axis のやさいとは

「Axis のやさい」は株式会社アクシスが2020年10月に鳥取市で開始した地域のフードロス対策と子ども食堂の支援を目的としたCSR活動です。地域の農家・生産者さんから直接仕入れた規格外野菜・余剰野菜を安価な価格で地域の皆様に販売すると共に、鳥取市内の子ども食堂に野菜を寄付しています。昨年は県内各企業とのコラボ開催やイベント出店を中心に「Axis のやさい」を年間17回開催、延べ2,000人以上の地域の皆様に来所いただいています。また、子ども食堂への野菜・果物などの寄付は87,709円分に相当し、鳥取市内28箇所の子どもの食堂に届けています。さらに「Axis のやさい」から派生した「Axis のやさい定期便」は、2022年に個人向けにもサービスを開始し、その収益の一部を鳥取市地域食堂ネットワークに寄付、子ども食堂の運営に役立てられています。（ウェブサイト：<https://www.t-axis.co.jp/axis-vege/>）

■フードロスの削減と地域コミュニティの復活

高齢化・過疎化が急速に進む地方における人との繋がりは、人との関りが制限された生活が続いたことで希薄化が進み、かつては存在していた「地域コミュニティ」の復活には地方の生活を温かく、豊かにする要因の1つとして期待が寄せられています。

「農作物で人と人をつなぐ」をコンセプトにスタートした、「Axis のやさい」の活動には現在、30を超える農

家・生産者さんにご協力いただく他、弊社の社員以外にも小さなお子さんから大学生、地域の方や農家の方まで多くの皆さんがボランティアとして参加いただいています。このように「Axis のやさい」を通じてできた、小さな人のつながりの芽は毎年、確実に成長を続けています。

■3 社協業の背景

株式会社米子青果は鳥取西部を中心に野菜・果物を取扱い、生産者と消費者をつなぐ要として、地域の日々の食卓・生活を支えています。農家様から出荷先の見つからない規格外や余剰の野菜・果物を仕入れ、「Axis のやさい」に提供いただきます。有限会社あっぷるはうすは「魅力を引き出すビジネスパートナー」を掲げ、山陰の企業、自治体を中心に広告代理店という枠を超えた事業を展開しており、近年では障がい者アートを地域に広げるソーシャルビジネスや学生支援等に取り組んでいます。「Axis のやさい」のようなマルシェを米子市で開催することを通して、地域コミュニティの復活を目指しています。

■超地域密着型生活プラットフォーム「Bird」について



鳥取県鳥取市で2021年6月にアクシスが開始したプラットフォームサービス。人口最少県「鳥取」が抱える過疎化・買い物難民・中山間地域の空き家問題といった課題を、IT とリアルを融合したサービスで解決することを目指し、地元企業と共にサービスの拡大・拡充に努める。(ウェブサイト：<https://home.ttr-bird.com/>)

■株式会社アクシス

「スマートシティ創造企業」を掲げ、企業基盤となる経営のDX化や再生可能エネルギー、ファシリティネットワーク、地域課題の解決を目指すIT×リアルを融合したプラットフォームサービス事業を展開。創業より地域貢献に力を入れており、地域に特化した人材事業、小学生向けのITスクール事業の他、フードロス削減、地域交流、子ども食堂の支援を目的とした「Bird」や「Axis のやさい」などSDGs活動にも取り組んでいる。
ホームページ：<https://www.t-axis.co.jp/>

■有限会社あっぷるはうす

山陰の企業、自治体を中心に広告代理店という枠を超えた事業を展開。マーケティング、クリエイティブ、プロモーションという3つの柱を持ちながら、イベントやプロジェクトの企画運営も手掛けている。近年では地域活性化・地域コミュニティの構築にも取り組んでいる。
ホームページ：<https://apple-house.net/>

■株式会社米子青果

創立以来「地域の皆さんに新鮮で安心安全な青果物をお届けすること」をミッションに地域の青物の流通を担っている。山陰両県の青果物はもちろんのこと全国の青果物、海外の青果物も取り扱い取引高は山陰で一番の規模となる。2020年には地域未来牽引企業に選出され、豊かな社会の実現に向け、地域活性・地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。
ホームページ：<https://yonagoseika.co.jp/>